

2023年3月期 第1四半期 決算概要

2022年8月9日



パンチ工業株式会社

(証券コード: 6165 東証プライム)



PUNCH INDUSTRY CO., LTD.

2023年3月期 第1四半期 決算ハイライト

全地域で増収を達成するも、原材料・資源価格高騰の影響大

売上	連結	連結売上高は、前年同期比110.3%、9億円増の102億円。
	日本	前年同期比101.2%の35億円。 低調な自動車関連を精密機器関連がカバー。
	中国	前年同期比113.9%の55億円。 自動車関連で好調を維持。
	東南アジア	前年同期比119.6%の4億円。 シンガポール、タイ、マレーシアが好調を維持。
	欧米他	前年同期比128.9%の7億円。 医療関連が好調を維持。
利益		営業利益は、前年同期比88.6%の705百万円 経常利益は、前年同期比91.7%の698百万円 親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比81.3%の427百万円
ネット資金		運転資金増加により、期首から515百万円減少。



損益計算書サマリー(1Q比較)

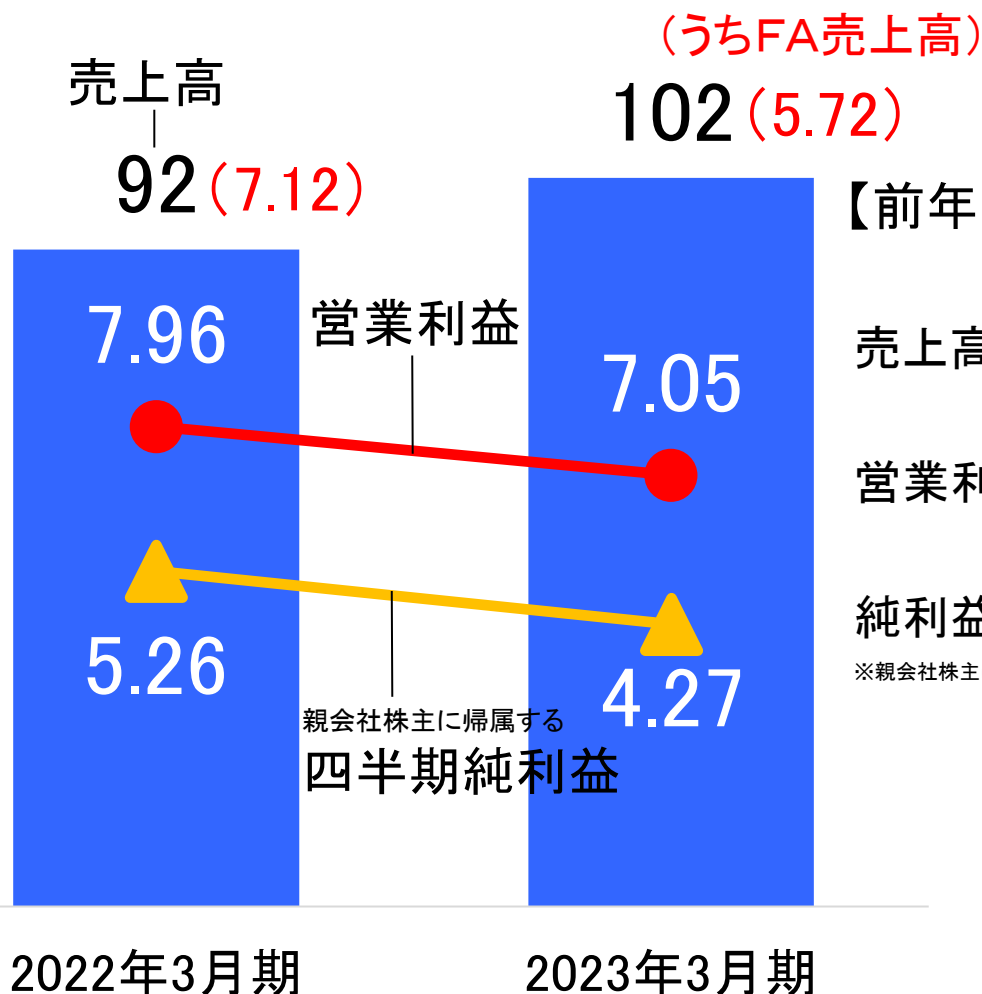
(単位:百万円)

	2022年3月期		2023年3月期		前年同期差	前年同期比
売上高		9,278		10,234	955	110.3%
営業利益	8.6%	796	6.9%	705	▲90	88.6%
経常利益	8.2%	761	6.8%	698	▲63	91.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5.7%	526	4.2%	427	▲98	81.3%



売上高と利益(1Q比較)

(単位: 億円)



【前年同期比較】

売上高	9 億 55 百万円	増収
営業利益	90 百万円	減益
純利益	98 百万円	減益

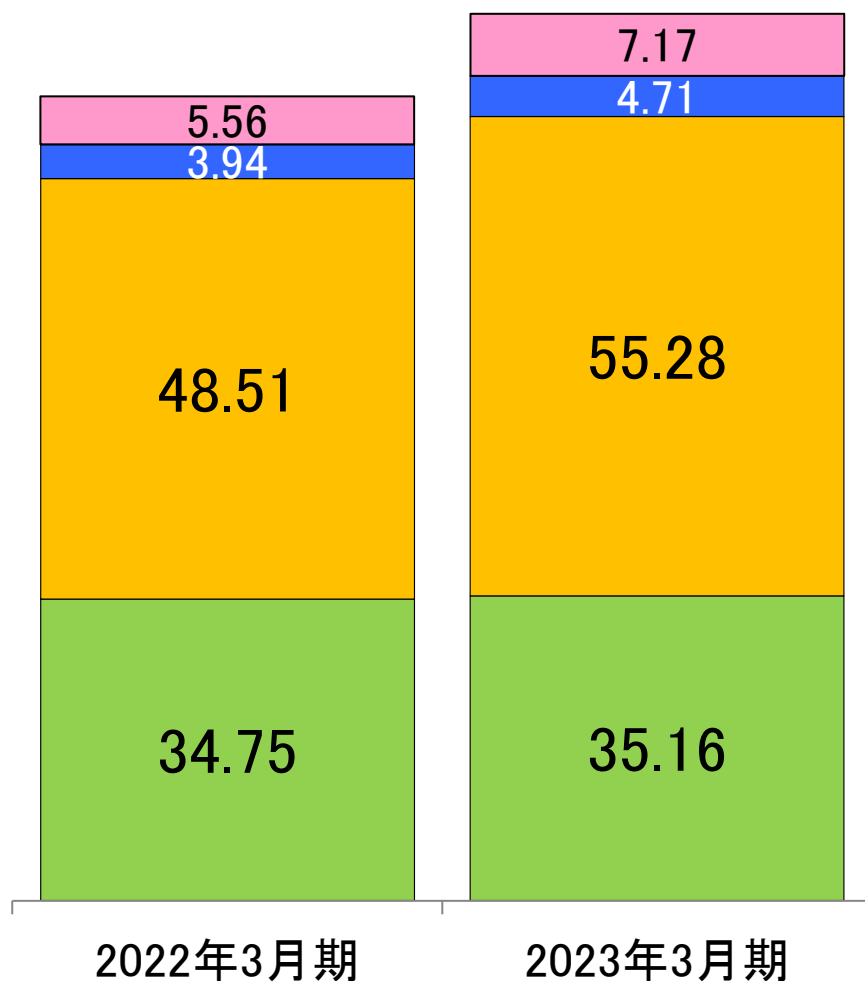
※親会社株主に帰属する四半期純利益



地域別売上高(1Q比較)

(単位: 億円)

全ての地域において増収となるも、
日本・インド以外は決算の期ズレあり



欧米他 医療関連の輸出が堅調を維持

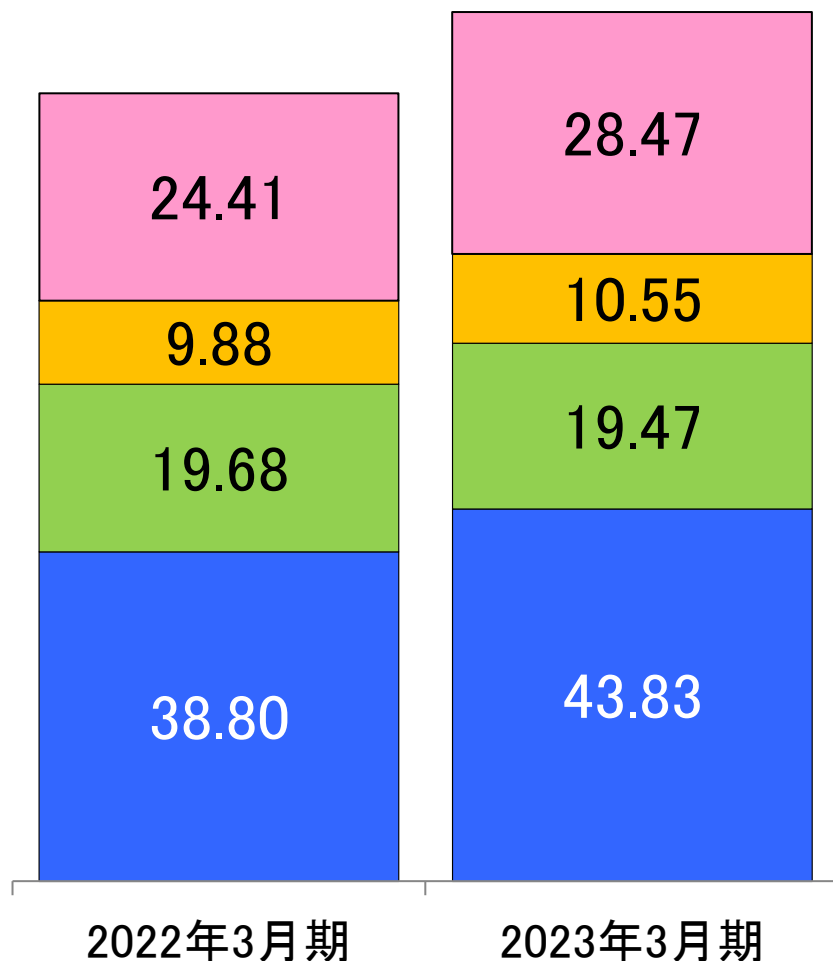
東南アジア 増収要素はシンガポール、タイ、マレーシアが牽引

中国 自動車関連が好調維持

日本 精密機器関連が他業種売上の低迷をカバー

業種別売上高(1Q比較)

(単位: 億円)



その他は日本での食品関連が復調気配
自動車関連は中国で好調維持

その他 食品関連が復調気配

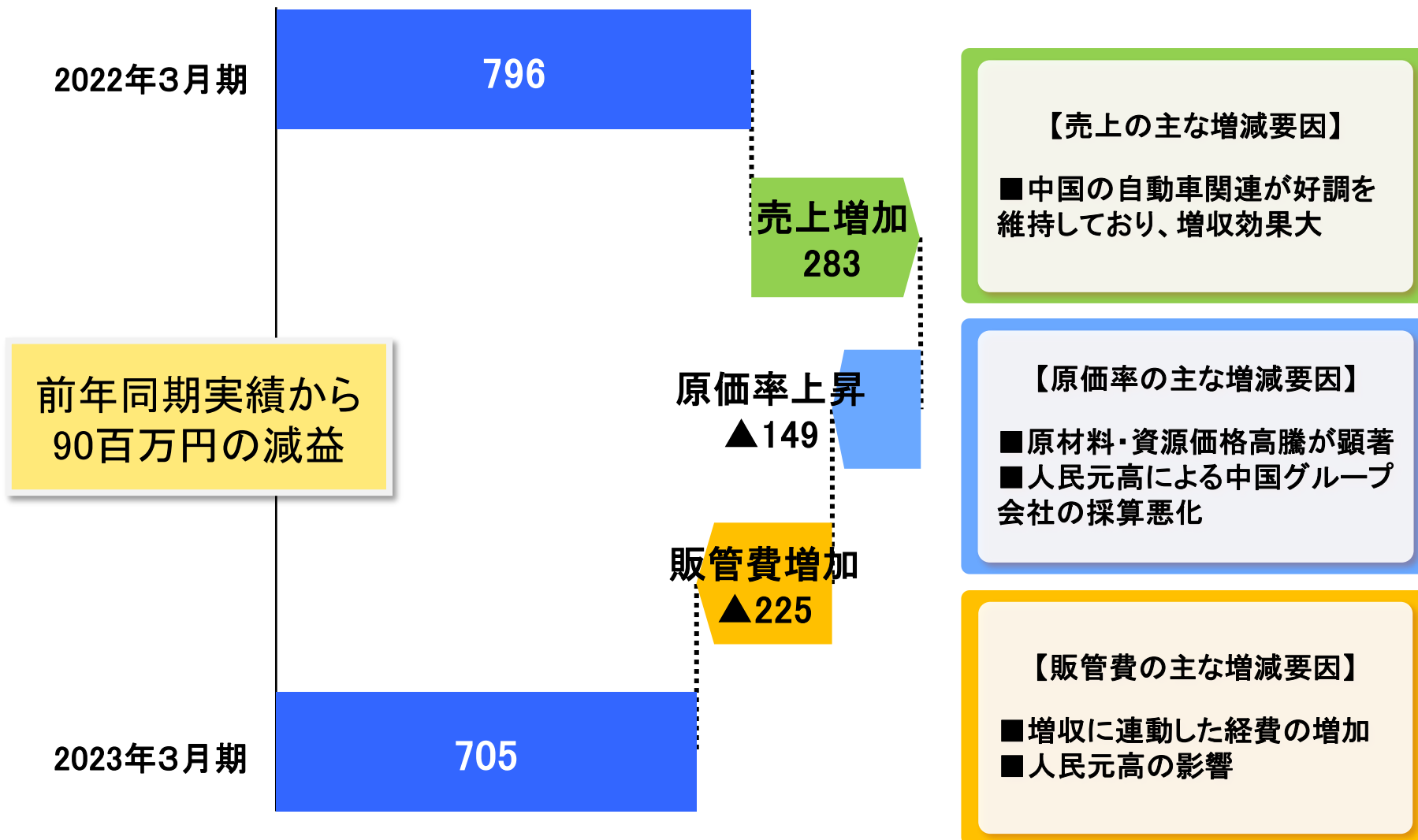
家電・精密機器 精密機器関連が好調維持

電子部品・半導体 半導体関連は好調を維持
電子部品関連は半導体不足を
起因として鈍化

自動車 日本は低調だが、中国は好調維持

営業利益増減(1Q比較)

(単位: 億円)



貸借対照表サマリー

(単位:百万円)

	2022年3月期末	2023年3月期 第1四半期末	比較増減
総資産	28,774	29,748	974
総負債	12,466	12,031	▲435
うち有利子負債	3,820	3,915	94
純資産	16,307	17,717	1,410
ネット資金	995	480	▲515
自己資本比率	56.5%	59.4%	2.9pt

	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	比較増減
設備投資額(無形固定資産含む)	239	271	32
減価償却費(無形固定資産含む)	236	277	40



2023年3月期 第2四半期累計期間の業績予想を修正

(単位:百万円)

	2022年3月期 第2四半期 (実績)	2023年3月期 第2四半期連結累計期間			
		前回予想 (2022/5/13公表)	修正予想	前年同期差 (前年同期比)	前回予想差 (前回予想比)
売上高	19,523	21,500	21,700	2,176 (111.1%)	200 (100.9%)
営業利益	9.1% 1,768	7.7% 1,660	7.1% 1,530	▲239 (86.5%)	▲130 (92.2%)
経常利益	8.9% 1,736	7.6% 1,640	7.0% 1,520	▲216 (87.6%)	▲120 (92.7%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6.4% 1,258	5.0% 1,070	3.9% 850	▲408 (67.6%)	▲220 (79.4%)



2023年3月期 通期の業績予想を修正

親会社株主に帰属する当期純利益の減少は、追加減損40百万円を織り込む

(単位:百万円)

	2022年3月期 (実績)	2023年3月期 連結累計期間			
		前回予想 (2022/5/13公表)	修正予想	前期差 (前期比)	前回予想差 (前回予想比)
売上高	39,358	43,500	44,300	4,941 (112.6%)	800 (101.8%)
営業利益	7.7% 3,041	7.6% 3,300	7.0% 3,100	58 (101.9%)	▲200 (93.9%)
経常利益	7.6% 3,007	7.5% 3,270	6.9% 3,070	62 (102.1%)	▲200 (93.9%)
親会社株主に帰属する 当期純利益	5.2% 2,040	4.8% 2,100	4.2% 1,850	▲191 (90.7%)	▲250 (88.1%)
自己資本利益率 (ROE)	14.2%	12.2%	10.3%	▲3.9pt	▲1.9pt

2023年3月期
配当予想

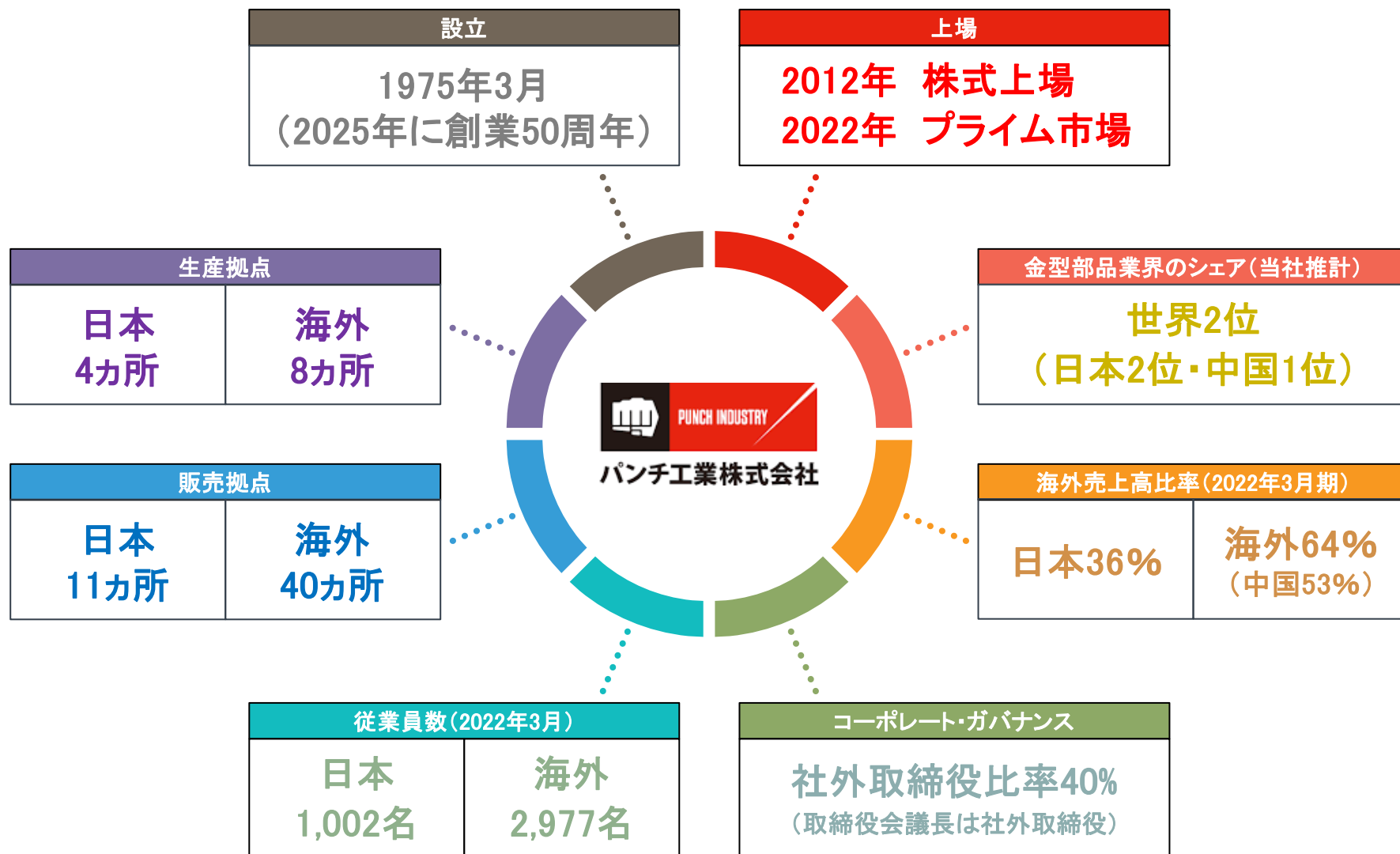
13円 = 中間 6.50円(予定) + 期末 6.50円(予定)



参考資料



ひと目でわかるパンチグループ



マネジメント体制

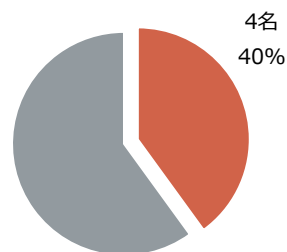
代表取締役社長プロフィール

氏名及び生年月日	職歴
 森久保 哲司 (1977年1月22日)	2003年5月 当社入社
	2005年2月 盤起工業(大連)有限公司
	2012年11月 バリュー・クリエーション推進室長
	2013年4月 経営企画室長
	2015年4月 PUNCH INDUSTRY MALAYSIA SDN. BHD.
	2016年5月 執行役員
	2018年6月 取締役 上席執行役員 経営戦略統括
	2019年4月 最高戦略責任者 グループ事業統括
	2019年6月 代表取締役(現任) 副社長執行役員
	2019年11月 社長執行役員 最高経営責任者 グループ経営統括(現任)

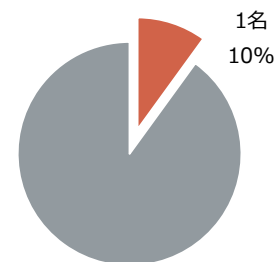
取締役体制

取締役	代表取締役社長執行役員 最高経営責任者(CEO)	森久保 哲司
	取締役常務執行役員 最高執行責任者(COO/営業)	真田 保弘
	取締役上席執行役員 最高財務責任者(CFO)	村田 隆夫
	取締役上席執行役員 最高執行責任者(COO/製造)	高梨 晃
	取締役	杉田 進
	社外取締役 取締役会議長	高辻 成彦
取締役 (監査等委員)	社外取締役	大里 真理子
	取締役(監査等委員)	河野 稔
	社外取締役(監査等委員)	松江 頼篤
	社外取締役(監査等委員)	鈴木 智雄

社外取締役比率



女性取締役比率

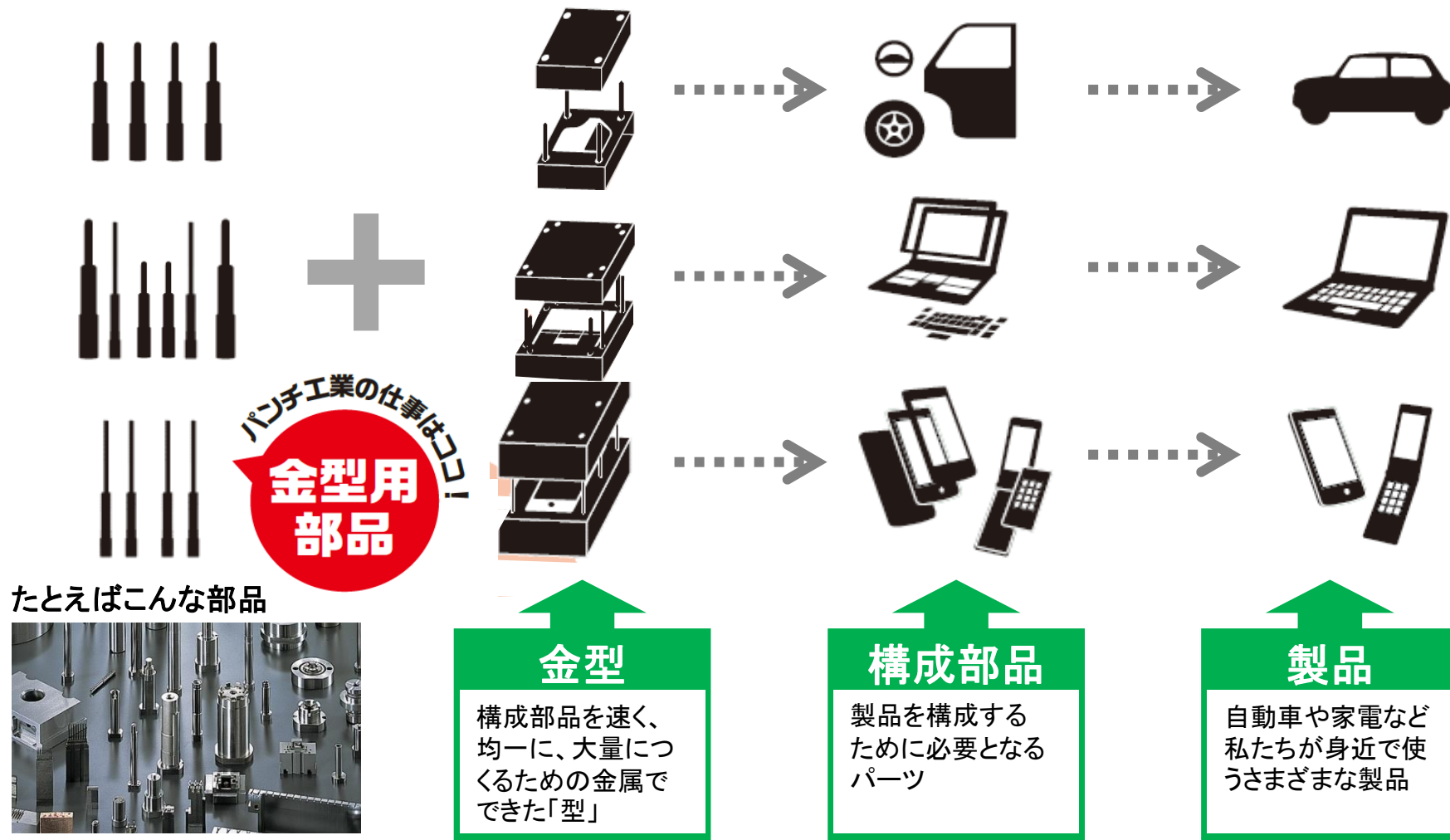


パンチグループ沿革



事業内容

金型を構成するために、なくてはならない多種多様な精密金型部品の製造・販売
皆様の豊かな生活を支える「縁の下の力持ち」



パンチグループの主要製品

射出成型金型等のプラスチック金型部品とプレス加工金型等のプレス金型部品
ものづくりの上流から下流までお取引

プラスチック金型部品

プラスチック金型は、スマートフォンやデジタルカメラの外装など、多くのプラスチック製品の製造に用いられています。加熱溶融したプラスチック樹脂を、射出成形機に実装された金型に注入し、冷却、固化することにより製品が作られます。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



主要な製品

エジェクタピン

射出成形された成形品を金型そのものから離し、突き出すための部品（押し出しピン）です。



主要な製品

コアピン

製品部を成形するのに使用し、コアピンの形が転写されます。製品部の貫通させた部分を成形したり、製品部に彫刻をします。

プレス金型部品

プレス機（上下運動する機械）に金型を装着し、上下に分かれた金型の間に材料となる金属の鋼板を入れ、プレス機を稼働することにより、金型で型どられた製品ができて上がります。パンチグループでは、この金型を構成する部品を製造・販売しています。



主要な製品

パンチ

プレス金型に組込まれる代表的な部品で、金属板に穴をあけたり、形状を転写するための部品です。当社の社名はこのパンチに由来しています。



主要な製品

ホルダーガイドポスト関連

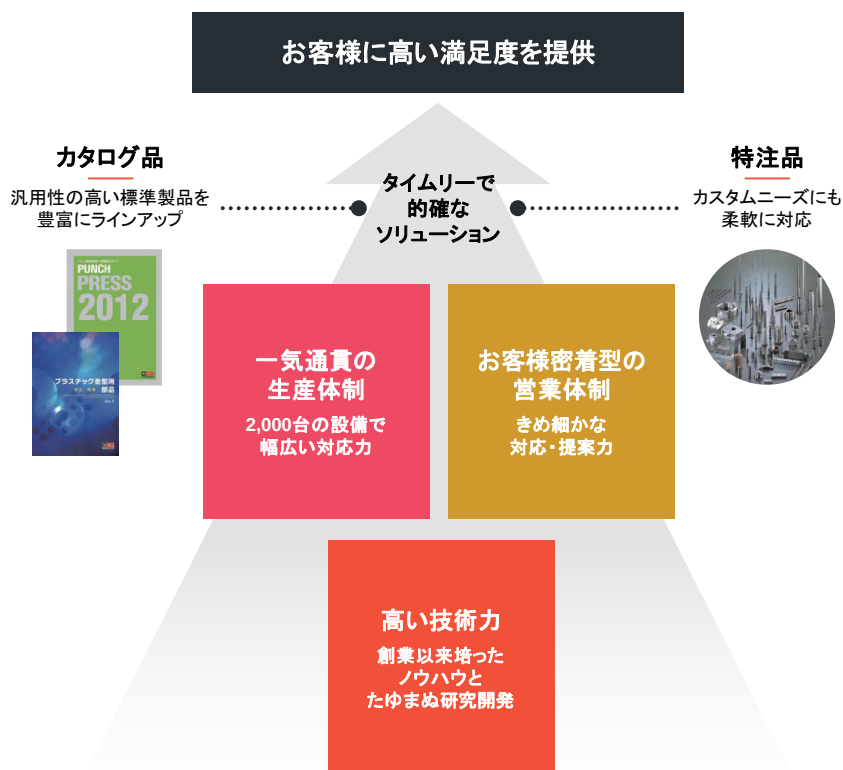
上型と下型の関係を正しく保つために使用する部品です。



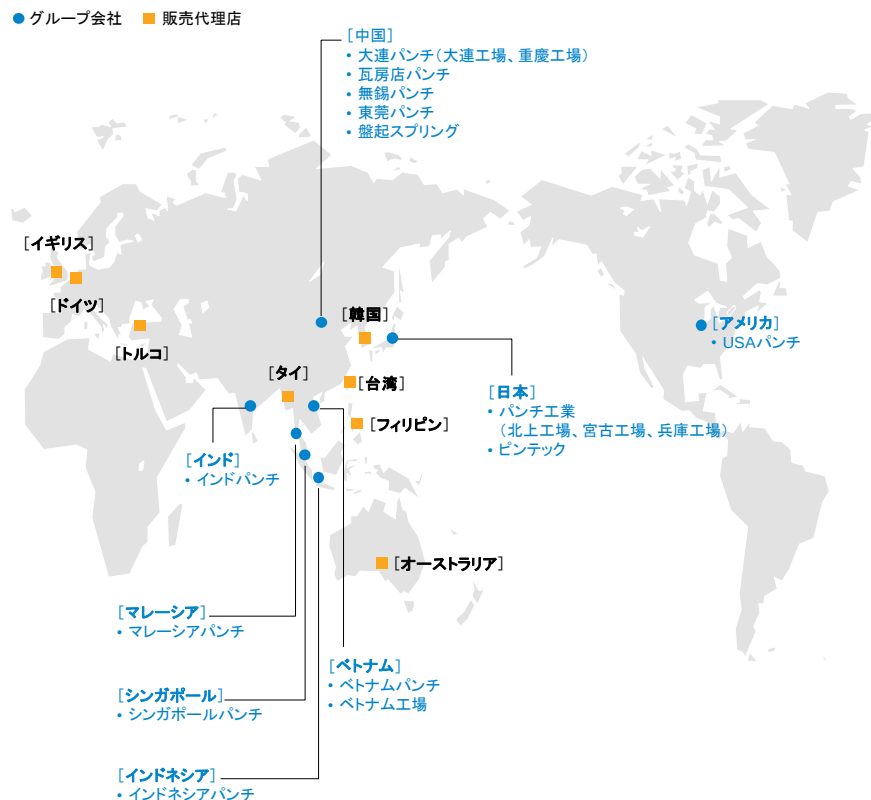
パンチグループの強みとネットワーク

汎用性の高いカタログ品を豊富にラインアップ & カスタムニーズにも対応する特注品
世界の「ものづくり」を支える

パンチグループの強み

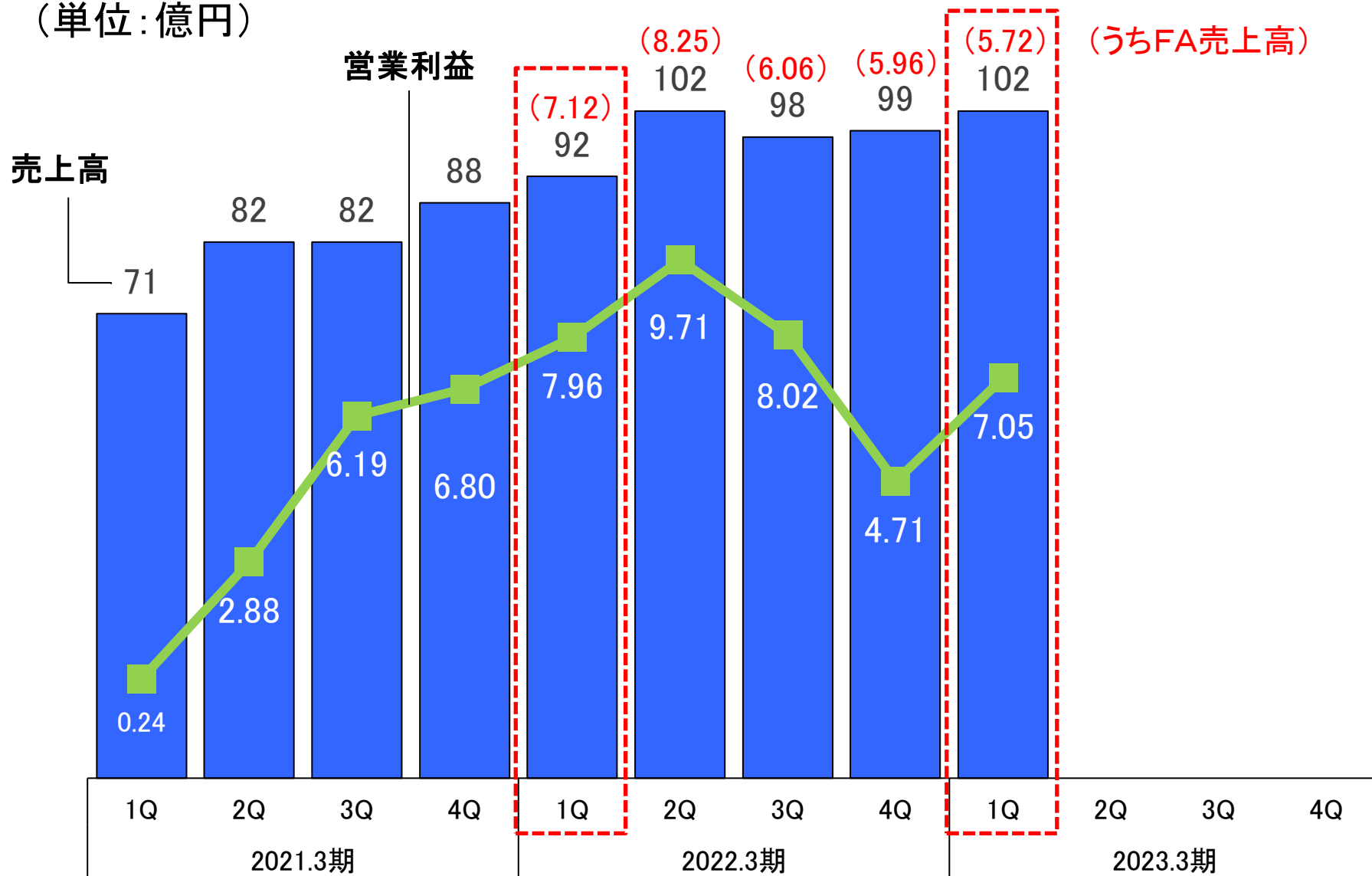


パンチグループのネットワーク



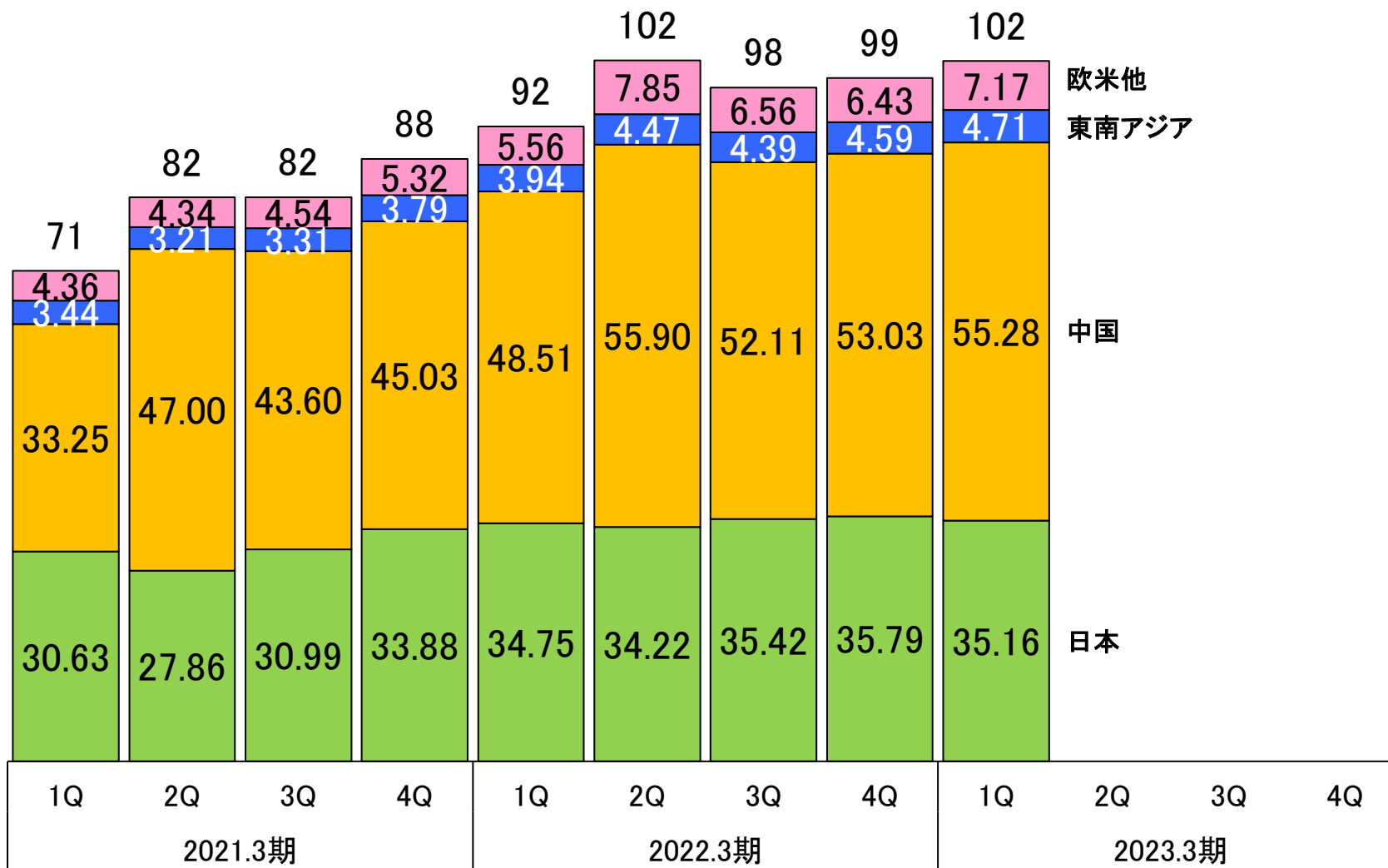
売上高と営業利益の推移

(単位: 億円)



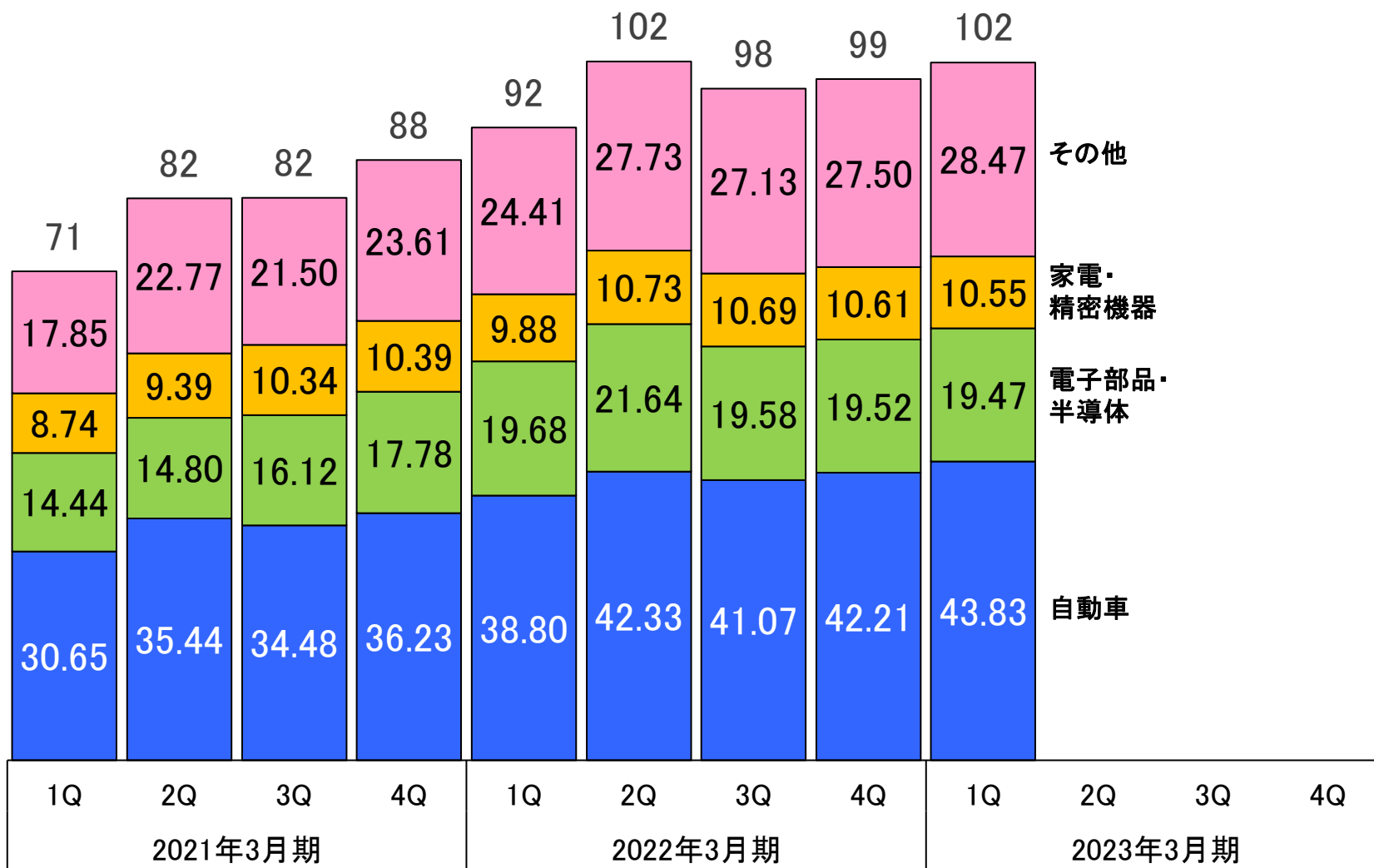
地域別売上高

(単位: 億円)



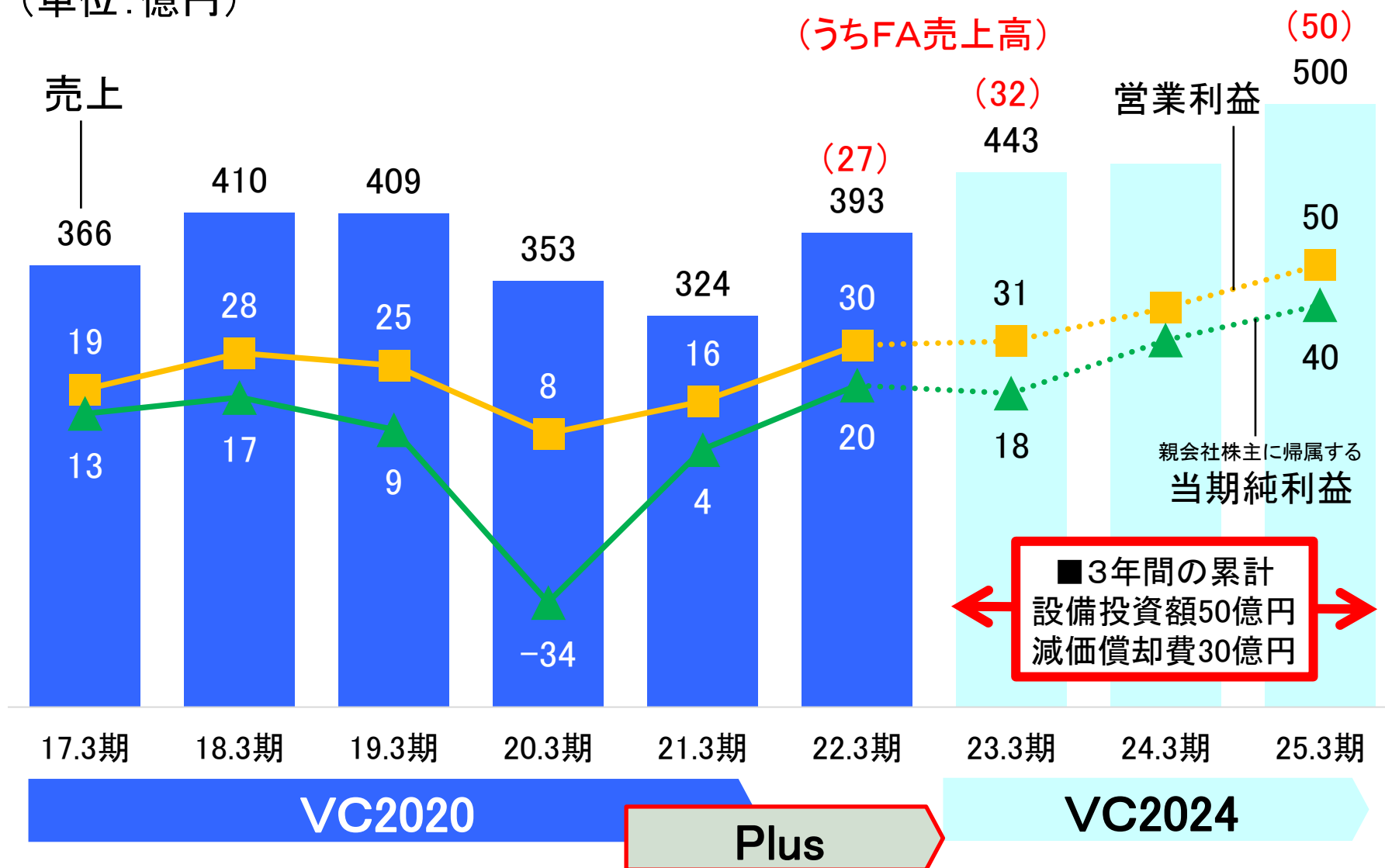
業種別売上高

(単位: 億円)



中期経営計画「VC2024」の経営数値目標

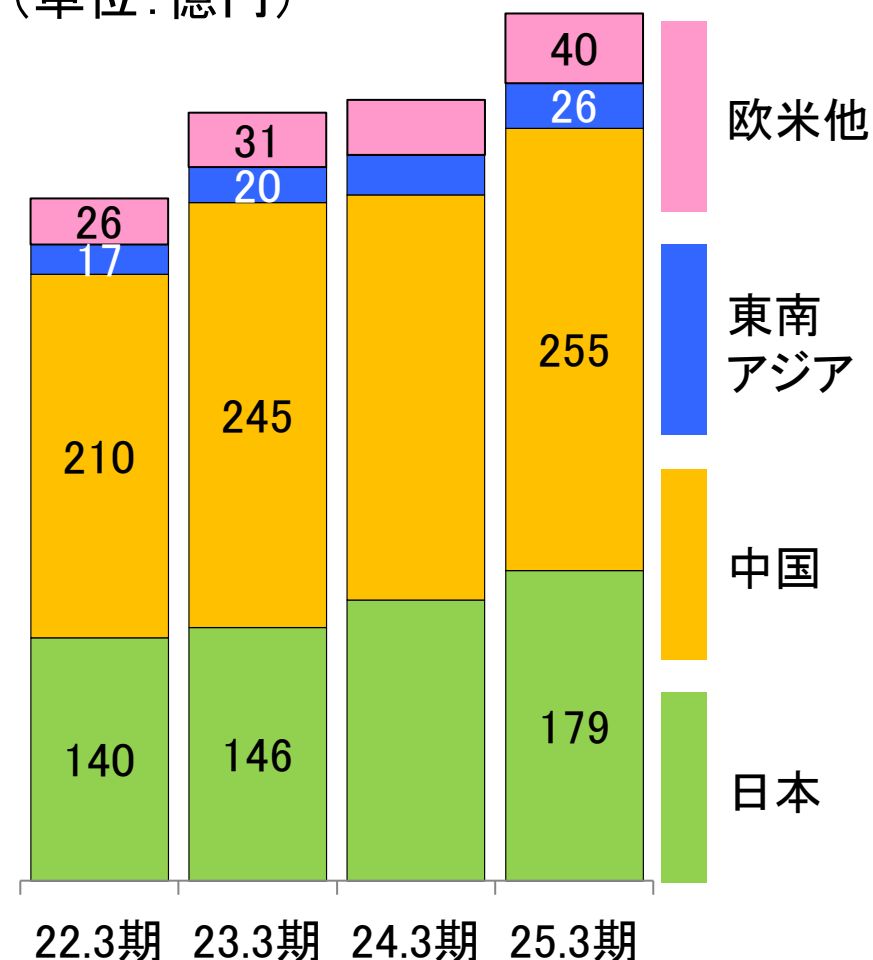
(単位: 億円)



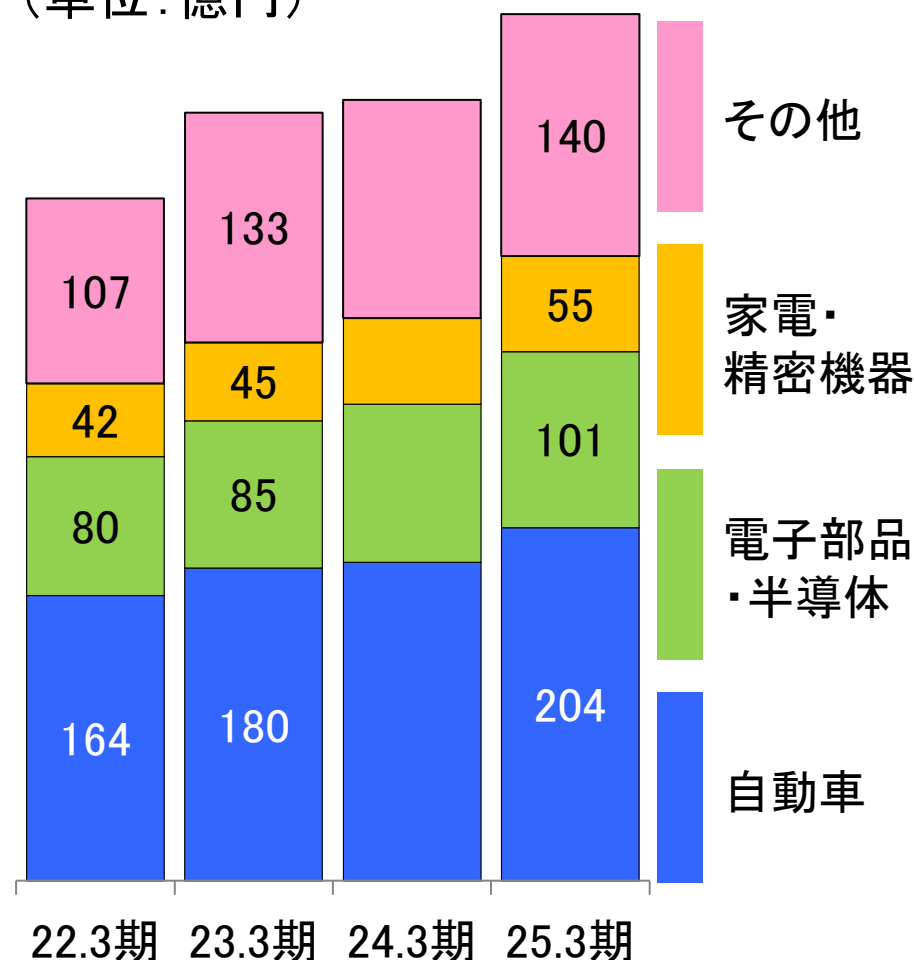
VC2024の地域別・業種別売上の数値目標

「VC2024」は、2022～2024年度（2023年3月期～2025年3月期）

（単位：億円）



（単位：億円）



流通株式時価総額の増大に向けて

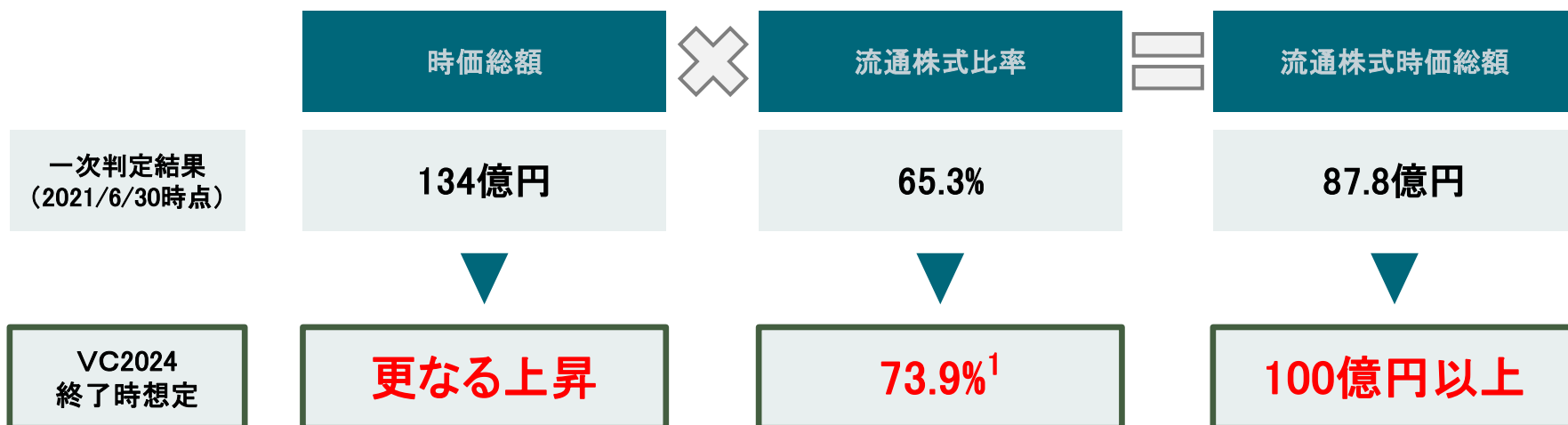
企業価値向上のための施策を通じた株価・時価総額上昇を通じ、プライム市場の上場維持基準である流通株式時価総額100億円の達成・及び更なる上昇を目指す

流通株式時価総額上昇に向けた課題

企業価値向上施策を通じた株価上昇
ROIC経営による「稼ぐ力」の強化
成長投資と安定配当を最適バランスで実施

課題解決に向けた基本方針

成長に向けた設備投資の実施
DX推進での業績向上と働き方改革
新技術・新製品の持続的な開発



1. 第三者割当による行使価額修正条項付第4回新株予約権の発行にて2,500,000株の新株を発行し、その全てが流通株式に該当したと仮定





【IRに関するお問い合わせ先】 パンチ工業株式会社 経営戦略室 広報IR課 電話:03-5753-3130 e-mail:info-corp@punch.co.jp

【将来見通し等に関する注意事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。